



8月の園だより

社会福祉法人 であいの里 さやま保育園
2026年 8月1日

＊保育目標 反省 すみません＊

- ・「ごめんなさい」「ありがとう」が、素直にいえる。
- ・夏の遊びに積極的に取り組み、楽しさを発見する。



【法話】

「お盆」

7月に入り梅雨があけて、毎日30℃越えの真夏日・猛暑日が続いています。8月も熱中症対策をして、暑さを乗り越える工夫をしながら、保育園生活を楽しんでいきたいと思います。

日本の夏には、昔から全国的に「お盆」があります。各地で色々な風習・伝統行事がありますが、本来の「お盆」は、インドの「ウランバーナ」という言葉

が、漢字の「盂蘭盆」にあてはめられ、短く略されたもので、意識すると「解倒懸」という意味です。「倒懸」とは、さかさまにつるされることで、大変苦しい状態です。その苦しみから解かれ救われるのが、「解倒懸」です。お釈迦さまの十大弟子の一人である目蓮

尊者、そのお母さんが、仏法によって、餓鬼道の苦しみから救われたという話に基づいています。「倒懸」の状態にあるのは、この私です。さかさまをさかさまと知らず、苦しみを苦しみと知らない私に、迷いを迷いと教え示してくれるのが、お盆の行事です。

「お盆に先祖の霊が帰ってくる」というような俗信迷信に振り回されず、お盆には、先祖も私も共に、「倒懸(さかさま)」の苦しみ迷いから救われていく、仏教・お念仏の教えを、感謝の気持ちのなかで、聞かせていただきますよう。

合 掌

今月の行事予定

- 4・18日 礼拝 6日 ぐりぐら絵本選書会(ほし)
特別保育 12日～14日(申し込み終了)
発育測定(10日あひる・ひよこ 17日 ぞう・きりん
18日 うさぎ組) 20日 クッキー作り
21日 誕生会 26日 佐山小学校見学(ほし組)
27日 奉仕作業② 28日 保護者会役員会
避難訓練(台風)＊日程決めずに行います。



熊本地震が起こって・・・

このたびの令和8年熊本地震により被害に遭われた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。猛暑の中で復旧作業にあたっておられる方々、また、突然の災害により不安な日々を過ごしておられる皆様のご苦勞を思うと、一日も早い復旧と、穏やかな日常が戻ることを心より願っております。

地震が発生した午後4時27分頃、さやま保育園では短時間保育のお迎えが終わり、早出勤務の職員が退勤した後、それぞれの保育室で子どもたちが元気に自由遊びを楽しんでいる時間帯でした。もし同じような地震がこの地域で発生し、さらに猛暑の中で電気や水道などのライフラインが停止したとしたら——そのような状況を想像し、改めて災害への備えの重要性を強く感じました。

保育園は、子どもたち一人ひとりの命と安全を守ることを第一の使命としています。同時に、感染症の流行時にも保育を継続してきたように、災害時においても保護者の皆様の就労を支え、地域の子育てを支える社会的な役割を担っています。被災した状況の中でも、子どもたちや保護者の皆様が安心できる居場所であり続けるために、どのような体制を整え、保育を継続していくかを常に考えていかなければなりません。

先月、4名の保育者が大阪で開催されたBCP(事業継続計画)研修を受講し、さやま保育園独自の災害対策や事業継続計画の見直しに取り組み始めたところでした。今回の地震を受け、現在の備えにはさらに充実させるべき点があることを改めて認識しました。今後は、計画を早急に整備するとともに、全職員で内容を共有し、日頃から危機意識を持って訓練を重ね、いざという時に落ち着いて行動できる体制づくりに努めてまいります。

災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。だからこそ、子どもたちの命を守るため、そして保護者の皆様に安心してお子様をお預けいただけるよう、職員一同、防災・減災への取り組みを一層進めてまいります。今後とも、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

